

発行：はつらつ編集局
 発行日：平成 25 年 2 月 1 日
 発行人：吉田 秀明
 編集人：はつらつ編集委員
 お問い合わせ：0135-23-3126



特別コラム「海外旅行の際は腸チフスにご注意を！」

こんにちは。私は昨年、バングラデシュで腸チフスの研究に携わらせて頂く機会がありました。感染症法の 3 類感染症である腸チフスは日本ではあまりなじみのない病気ですが、世界では南・東南アジアを中心に広く流行しています。日本での患者の半数以上は海外からの帰国者または流行地の人によって持ち込まれた**輸入感染症**です。今回は、海外旅行に際しての予防を含め、**腸チフス**についてのお話です。

【病 因】

腸チフスはチフス菌 (*Salmonella Typhi*) の感染によって起こる感染症です。名前に“腸”とついていますが消化管だけの病気ではなく、チフス菌が血流に乗って全身に広まり引き起こされる全身性の感染症です。

【感染経路】

チフス菌はヒトにしか感染しません。腸チフスの患者および無症状の保菌者の便と尿、それらに汚染された食品、水、手指が感染源となり経口的に感染します。

【世界の腸チフスの現状】

全世界では年間約 2000 万人が腸チフスを発症し、約 20 万人の死亡例があるとされています。小児～若年成人が罹患することが多いです。

【日本での患者数】

国立感染症研究所感染症情報センターによると、この 10 年、日本では年間 29～86 例の報告数があります。その内の半数以上は南・東南アジアからの帰国者です。

【症 状】

潜伏期は 1～2 週間です。教科書的には持続する高熱に加えて、比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現して数時間で消える紅斑)、脾腫が 3 主徴とされていますが、これらの症状が揃うことは多くありません。胃腸症状(腹痛、下痢、便秘など)は比較的多くみられ、重症になると腸出血や腸穿孔を起こすことがあります。その他、重症例では呼吸器合併症(肺炎など)や中枢神経系合併症(髄膜炎や脳炎)を起こすこともあります。

【診 断】

診断の基本は血液培養によるチフス菌の検出です。しかし、血液培養には時間がかかり(3-4 日以上)、陽性率は低いです。また、医療施設の乏しい国では施行することが困難です。少量の血液を使った迅速診断検査や尿や唾液による診断などの新しい診断方法の開発が進められています。

【治 療】

抗生剤を使用します。近年はいろいろな抗生剤に抵抗のある多剤耐性菌が増加しているので、注意が必要です。

【予 防】

腸チフス感染予防の基本は手洗いと汚染された食品・水を摂取しないことです。南・東南アジアなどの流行地では生ものの摂取を避けることが大切です。予防のためのワクチンもあり、欧米諸国では渡航者に対して接種されています。流行地に長期間滞在する場合は、ワクチン接種を検討しましょう。

小児科 福島 雅子

新春書き初め大会



仕事始めとなった1月4日、今年で2度目の開催となる「新春書き初め大会」が行われました。昨年参加された職員に加え、今年は院長の吉田先生も参加し、2013年の抱負「夢を正夢に」を大きな半紙に書き上げました。参加した職員は、日頃の思いを書き綴る方、好きな文字を次々と書く方など皆様々。中には感性の光る作品から、ちょっとおちゃめな作品まで……。それぞれの個性豊かな作品と、そこに映した意気込みとともに、2013年のスタートとなりました。外来待合室にて展示中です。



救急件数(1月)

外来受診256件 うち入院30件
 救急車来院56件 うち入院24件



第2回医療体験セミナー

1月19日に第2回となる医療体験セミナーが開催されました。小学生5名、中学生6名が参加し、画像診断や手術の体験をしました！